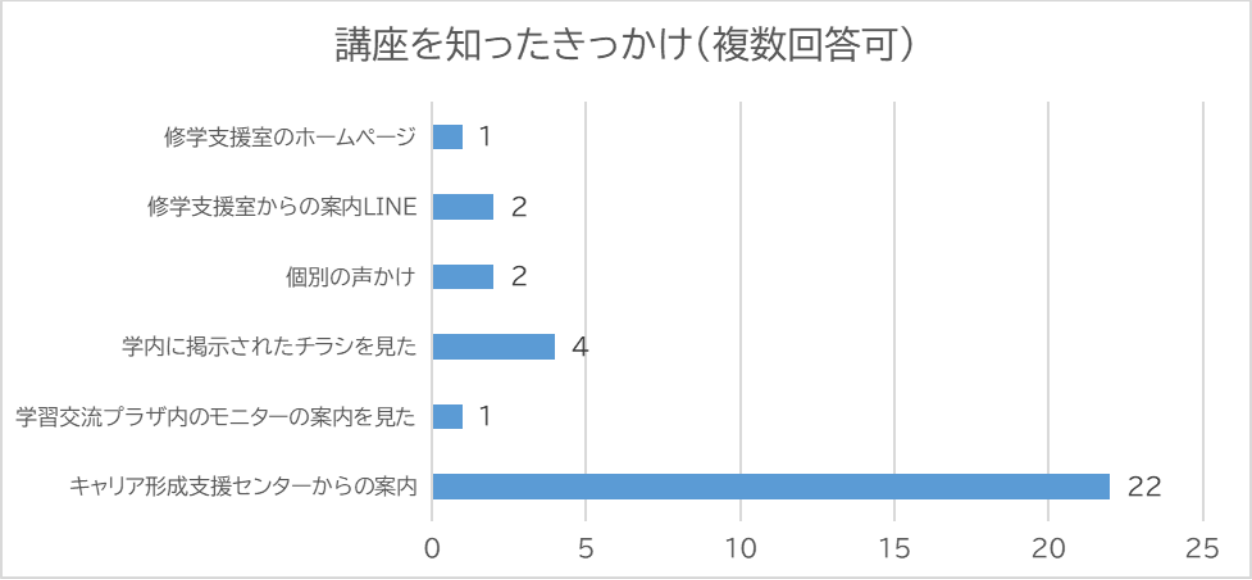
R7 年度就活に不安のある学生のための就職準備講座
アンケート結果

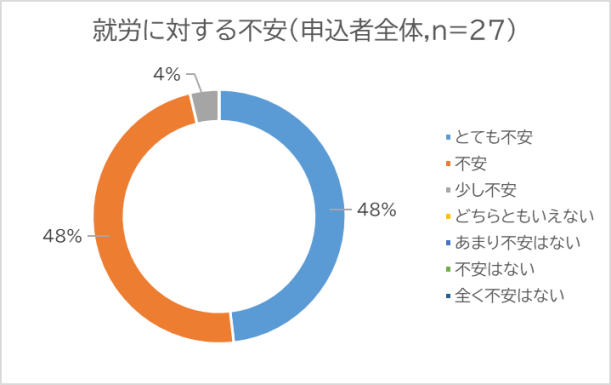
鹿児島大学修学支援室

日時：R7 年 5 月 21 日(水)2 限 10:30-12:00　インターンシップのすすめ
3限 12:50-14:20　職業選択の入口
22 日(木)2限 10:30-12:00　インターンシップのすすめ
3限 12:50-14:20　職業選択の入口
場所：就職セミナールーム
参加申込み者：28 名（うちセンター登録学生：6 名）
参加者：21 名（インターンシップのすすめ：17名、職業選択の入口：14 名）

【参加申込み時のアンケート】（n=27）
〈講座を知ったきっかけ〉
・キャリア形成支援センターからの案内をきっかけに参加申込みをする学生が多かった。次いで、学内に掲示されたチラシを見て参加申込みをする学生が多かった。キャリア形成支援センターを通して全学生に一斉に案内できることが参加申込みにつながっていると考えられる。

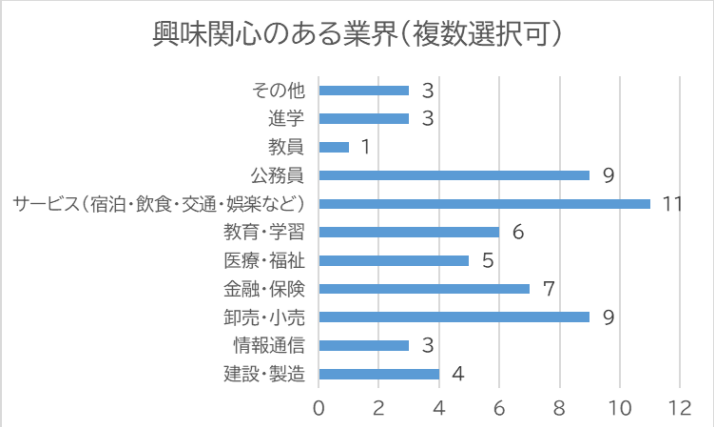


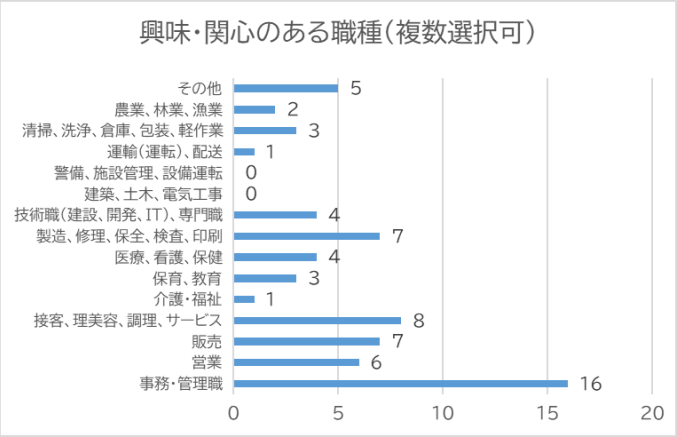
〈就労に対する不安〉
・参加申込み時点での就労に対する不安は、「とても不安」と「不安」がそれぞれ 48%と最も多く、参加申込者の就労に対する不安は高いことが示された。



〈興味・関心のある業界・職種〉

・興味・関心のある業界としては、サービス（宿泊・飲食・交通・娯楽など）が最も多く、次いで公務員、卸売・小売、金融・保険が多かった。職種としては、事務・管理職が最も多く、接客・サービス、製造・修理・保全・検査、販売が多かった。





〈就活について不安なこと〉（自由記述）

・何をすればいいのか、何から始めてどのように進めていけばいいのかわからないなど、就活の流れや概観がつかめないという不安が多く（12人）、自分に合う仕事を見つけるにはどうしたらいいか、自分の興味のある職業がわからない、など自分の適職をふまえた職業選択や自己分析、業界研究に関する不安も多かった（9人）。また、内定がもらえるか、面接が上手くいくか、採用したいと思ってもらえるか、など就活に対する自信のなさを挙げる人もいた（3人）。その他、「県外の就職はどう探したらいいか」「民間志望の知り合いが周りにいない」「どう自己アピールをすればいいかわからない」「働き続けられるか不安」「大学の授業と就活の両立をどうするか」「相談できる相手がいない」「条件の見方や注意点を把握できるか」などの不安が挙げられた。

〈楽しいと思う活動や熱中していること、好きな科目〉（自由記述）

・運動、スポーツ、体を動かすこと、筋トレ、登山、野球、サイクリング、バイク、読書、ゲーム、ゲーム動画、音楽を聴くこと、三線、絵を描くこと、ものづくり、英語コミュニケーション、旅行、競馬、お酒、ドラマをみること、旅や歴史の番組やクイズ番組を見ること、アーティストの活動を応援すること、人助け、企画を考えたり実際に運営したりすること、グループワークなど人と対話しながら考えを深めること、PowerPoint などのデザインを試行錯誤すること、自己理解、自己成長を感じられる活動、アンケートを回答して近くの人とシェアすること、たくさんの人と話すのは苦手だけど、1体 1 で誰かと話すのは得意。

・メディア系、心理学概論、日本近現代文学研究 A、文献資料学、哲学概説、多文化交流論、体育、歴史、化学、国語、生涯学習、社会学

・好きなものが見つけられていない、特になし

〈講座で知りたいこと・質問〉（自由記述）

・就活の始め方、今するべきこと。

・職業の決め方や調べ方、自分が知らない企業の調べ方

・「自分のやりたいこと」とは、どういうイメージを持つのが良いのでしょうか

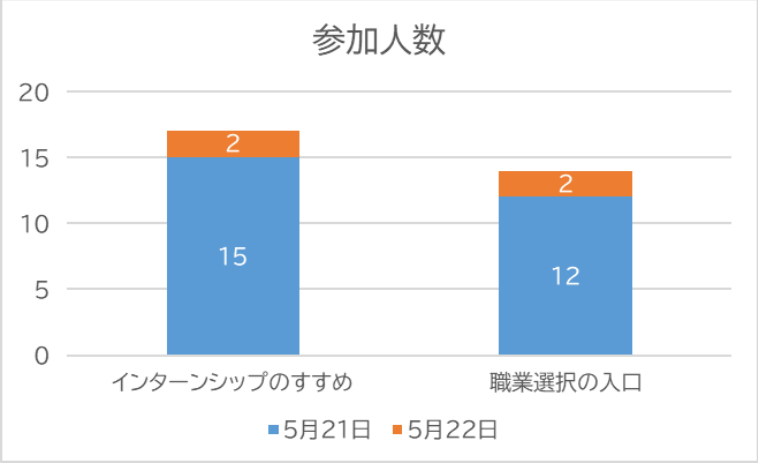
・インターンシップを含めた就活の概観、インターンに向けて何を準備すれば良いか、インターンシップの決め方、おすすめのインターンシップ。

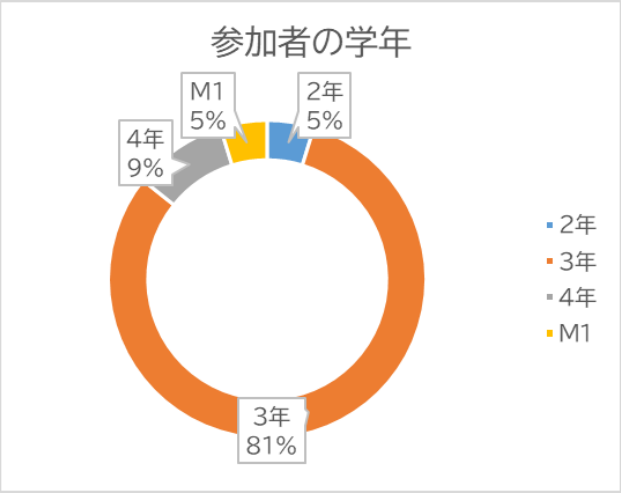
・大学の就活センターの活用の仕方や授業等に重ならないように就活をする工夫を知りたい。

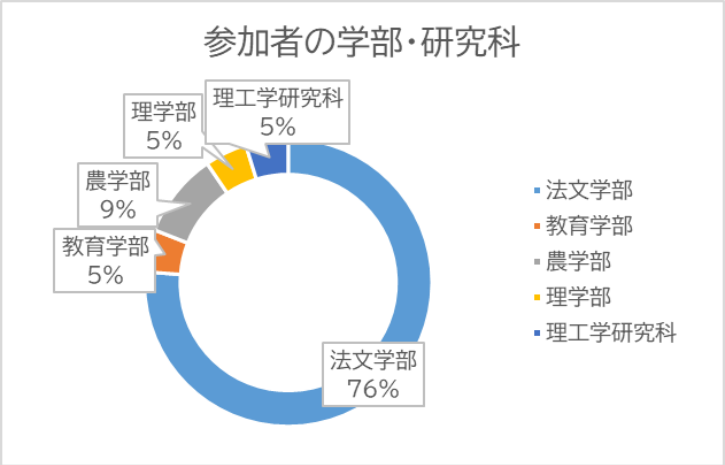
【講座後】

〈講座の参加者〉(n=21)

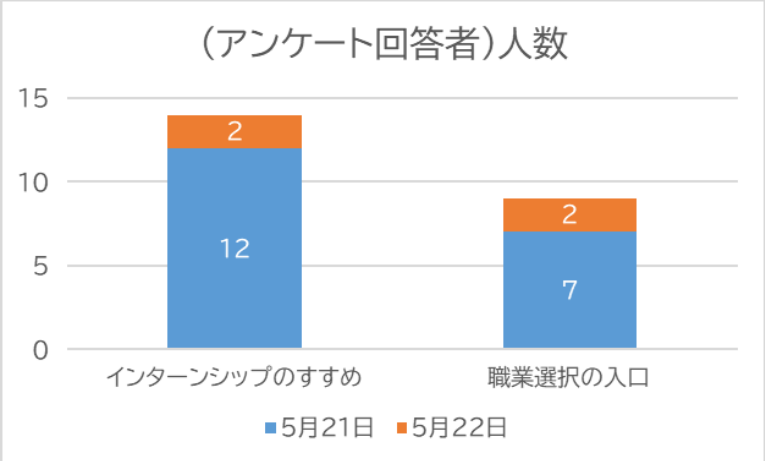
・参加者は81％が学部3年生であり、法文学部の学生の参加が特に多かった。また、1日目(5月21日)に参加する学生が多かった。

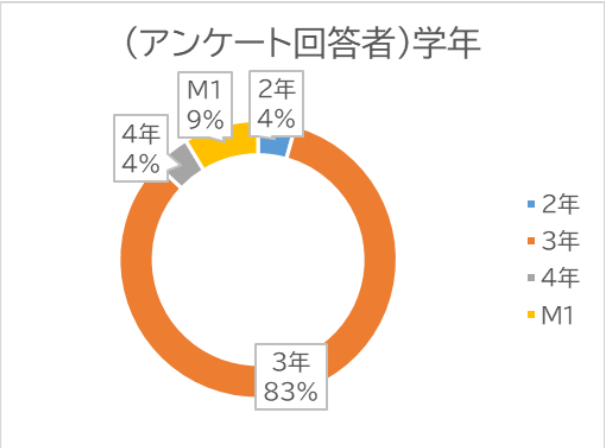


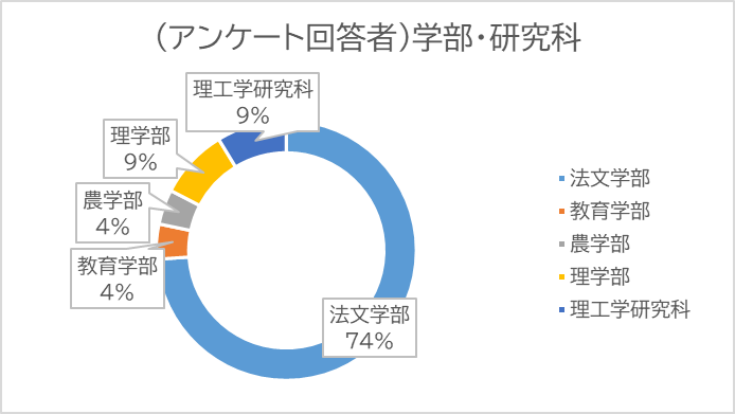




〈アンケート回答者〉(n=17)

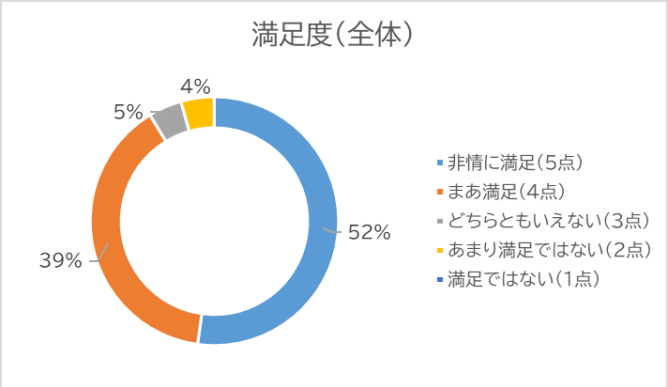


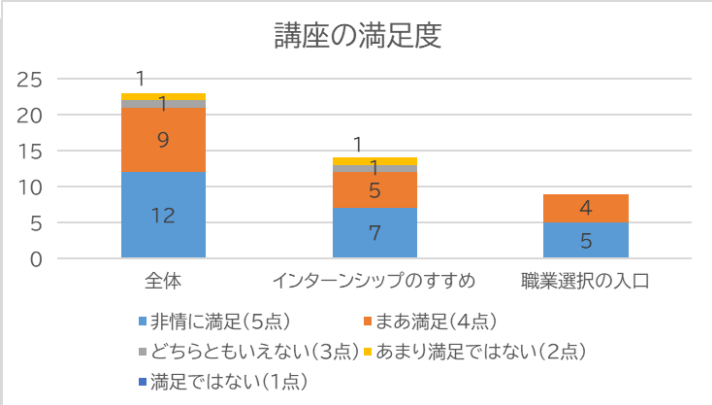




〈講座の満足度〉

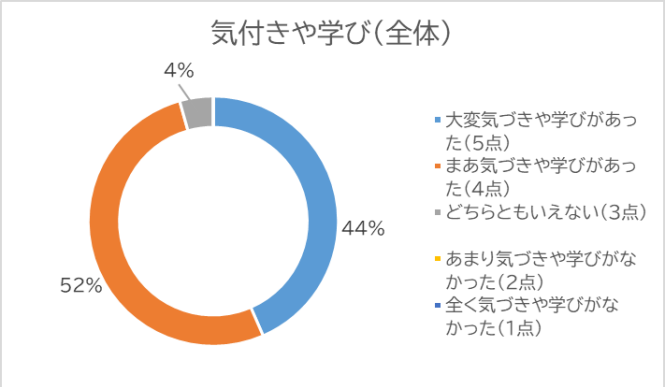
・「非常に満足」が 52%と最も多く、「まあ満足」も 39%と多く、講座全体の満足度は高かった。

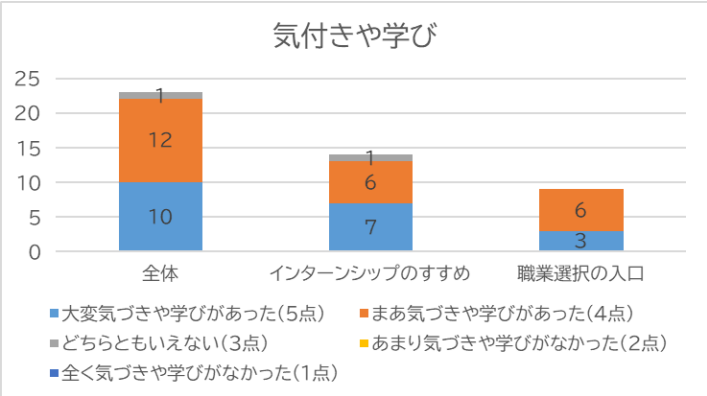




〈気づきや学びについて〉

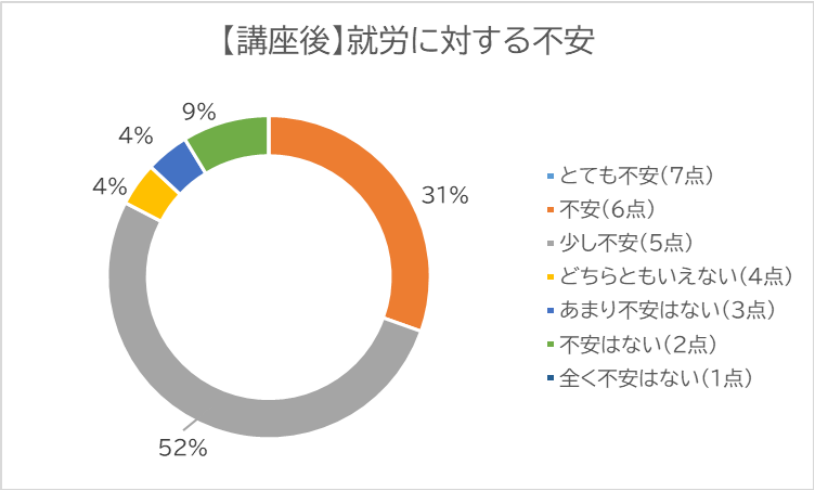
・「大変気づきや学びがあった」が 44%と多く、「まあ気づきや学びがあった」が 52%と最も多かった。多くの学生が講座を受講したことで学びや気づきが得られたと考えられる。

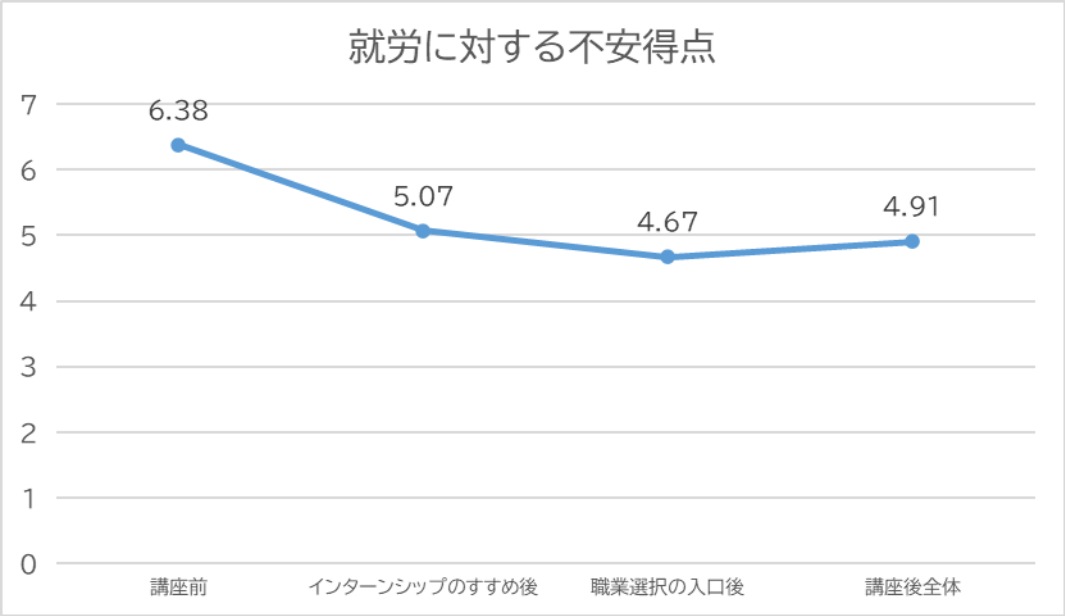




〈講座後の就労に対する不安〉

・「少し不安」が 52%と最も多く、「不安」が 31%であった。講座受講前後で就労に対する不安の高さを比較するため、「とても不安」～「全く不安はない」を 7 点～1 点とし、不安を得点化して比較した。その結果、講座前は就労に対する不安得点が 6.38 点であったが、インターンシップのすすめ後は 5.07 点、職業選択の入口後は 4.67 点となり、講座に受講により就労に対する不安が低下したことが考えられる。





〈不明点〉(自由記述)

・就活時と就活後で価値観が違うことがあると思うのだが、今楽しいと感じるかどうかを基準にして本当に良いのか。

〈質問・感想〉(自由記述)

【インターンシップのすすめ】

・職業選択において基礎になる部分を学ぶことができたのでよかったです。

・興味があるものを先に探してからインターンを決めたり詳しく調べようと考えていたが、行動してみないと興味があるものが分からないと思ったので行動してみようと思った。

・自分が学びたい分野に関してはまだ迷っているけど、自分がどのような形態をするのが好きなのかは分かったような気がした。これをもとに自分がどのような会社に就きたいか考えていきたいなと感じた。

・自分でまず色々動くことから始めることが大切であると分かりました。不安なこともまだありますが、相談や支援システムを利用し、行動していきたいと思います。

・「目標を見つけるためにインターンに行く」というアドバイスをもとに就職活動を始めていこうと思った。

・就活への不安を少しなくすことができました

【職業選択の入口】
・職種と業種の違いが明確でなかったが、今回の講座でそれがはっきりわかるだけでなく、他の人にも説明できるのではと思うほどになった。
・抽象的な考え方の部分を分かりやすく説明いただけて理解しやすかった。前半(2 限の時間)のコンテンツもダイジェストで説明していただけたのがありがたかった。
・職業に関して中々難しいイメージを持っていたりしたが、考え方を変えると違う気づきを得ることができることが凄いなと感じた。学生だからこそ得ることがあることにも気づけたので、職業についても調べてみたいなと思った。
・自分が今興味があるものをいくらか考えてみようと思った。
・経験談を交えたお話を沢山聞けて非常に有意義な時間でした。
・具体的なお話があると理解しやすくて良かったです。

〈今後希望するサポート・支援・講座〉
・キャリア教育支援センターと協力して就職サポートの講座などをしてほしいなと感じた。また大学で就職募集について分野別でまとめたものを HP で常時上げてもらえると嬉しいなと感じた。
・未定だが計画中とおっしゃっていた、職業の検査をぜひ受けてみたいと考えた。
・インターンシップの不安を解消するサポートや就職に関する情報を詳しくまとめたパンフレットや一覧をつくってくれると嬉しいなと感じた。初めてインターンシップを受ける人向けの説明会を開いてくれるといいのではないかと考えた。